



Value Matters

今までなかったものを。世界の価値になるものを。

Dexerials

— 10th Anniversary —

ゼロからわかるデクセリアルズ

2022年12月6日

(証券コード：4980)

業績と株価の推移

2022年12月2日時点

中期経営計画2018
「変革と成長」

中期経営計画2023
「進化への挑戦」

当社株価 (円)

19年3月末
734円

22年12月2日
3,160円

今中計期間の
株価リターン*

(19年3月末～22年12月2日)

株主
総利回り
(配当込) **+353%**

EBITDA (億円)

131

FY15
実績

85

FY16
実績

116

FY17
実績

97

FY18
実績

108

FY19
実績

176

FY20
実績

325

FY21
実績

419

FY22
見通し

*算出時の値は22年12月2日株価を使用

本日の内容



デクセリアルズとは



当社の強み



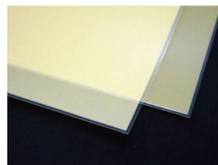
目指す姿

電子部品、接合材料、光学材料などの開発・製造・販売

光学材料部品事業セグメント



反射防止フィルム



蛍光体フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)



精密接合用樹脂

電子材料部品事業セグメント



接合関連材料



異方性導電膜
(ACF)



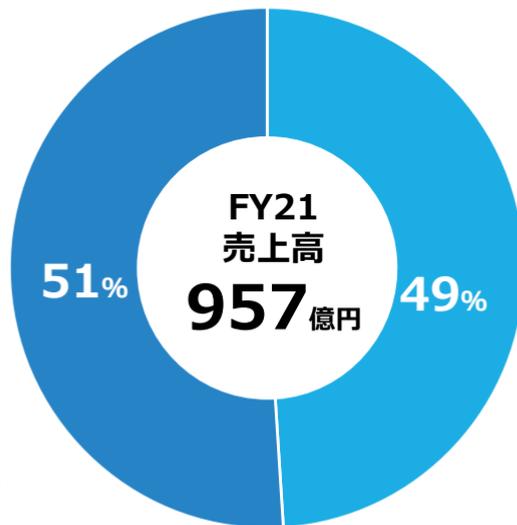
表面実装型ヒューズ



マイクロデバイス



光半導体



皆さんの身近な便利を支えています

オフィスや学校



例えば・・・

- ・ノートPC
- ・モニター
- ・プロジェクター
- ・サーバー

住まい



例えば・・・

- ・テレビ
- ・ノートPC
- ・コードレス掃除機や電動工具

街の中



例えば・・・

- ・スマートフォン
- ・タブレットPC
- ・自動車
- ・電動バイク

医療関係施設



例えば・・・

- ・人工呼吸器
- ・医療従事者向け防護具

世の中になくってはならない製品を提供

■ 例) 異方性導電膜 (ACF)



ディスプレイやセンサーなどで使われる電子材料
ICやモジュールと、基板の導電接続をするフィルム



画像を映し出すためには
ACFが欠かせません



ACFが
ないと...



主力製品はニッチな市場で世界No.1

世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜
(ACF)

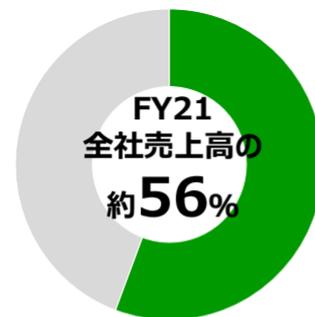


反射防止フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)

主力3製品の売上高



※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2021年の金額シェア。

※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2021年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2021年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

会社概要

社名	デクセリアルズ株式会社
設立	2012年6月20日（前身のソニーケミカルは1962年設立）
本社	栃木県下野市（21年7月に移転）
事業内容	電子部品、接合材料、光学材料などの製造・販売
資本金	16,170百万円（2022年3月31日現在）
従業員数	1,915名（連結、2022年3月31日現在）
証券コード	4980 東証プライム市場（2015年7月上場）



代表取締役社長 新家 由久



本社・栃木事業所

社名の由来・フィロソフィー

様々な「材料」を「巧みに、機敏に」組み合わせ、
常に新しい価値を創造していく企業です

- 社名の由来

デクセリアルズ
Dexerials

デクステラス マテリアルズ
Dexterous + **Materials**
(巧みな、機敏な) (材料・素材)

- 企業ビジョン

Value Matters

今までなかったものを。
世界の価値になるものを。

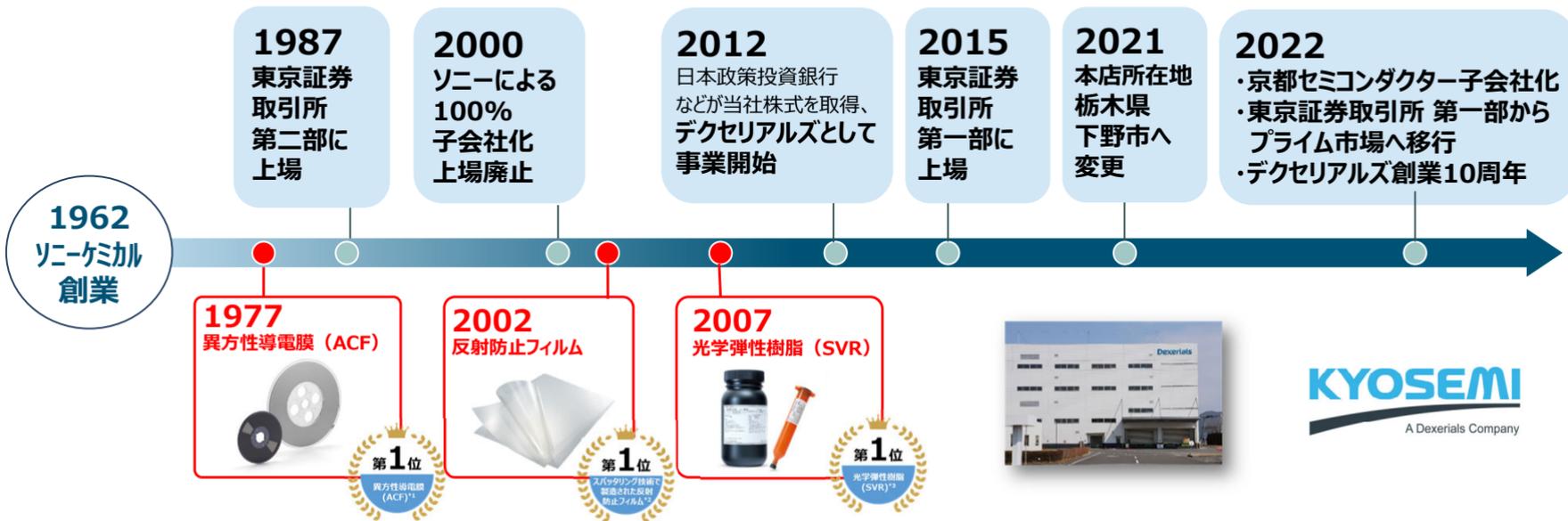
- 経営理念

Integrity

誠心誠意・真摯であれ

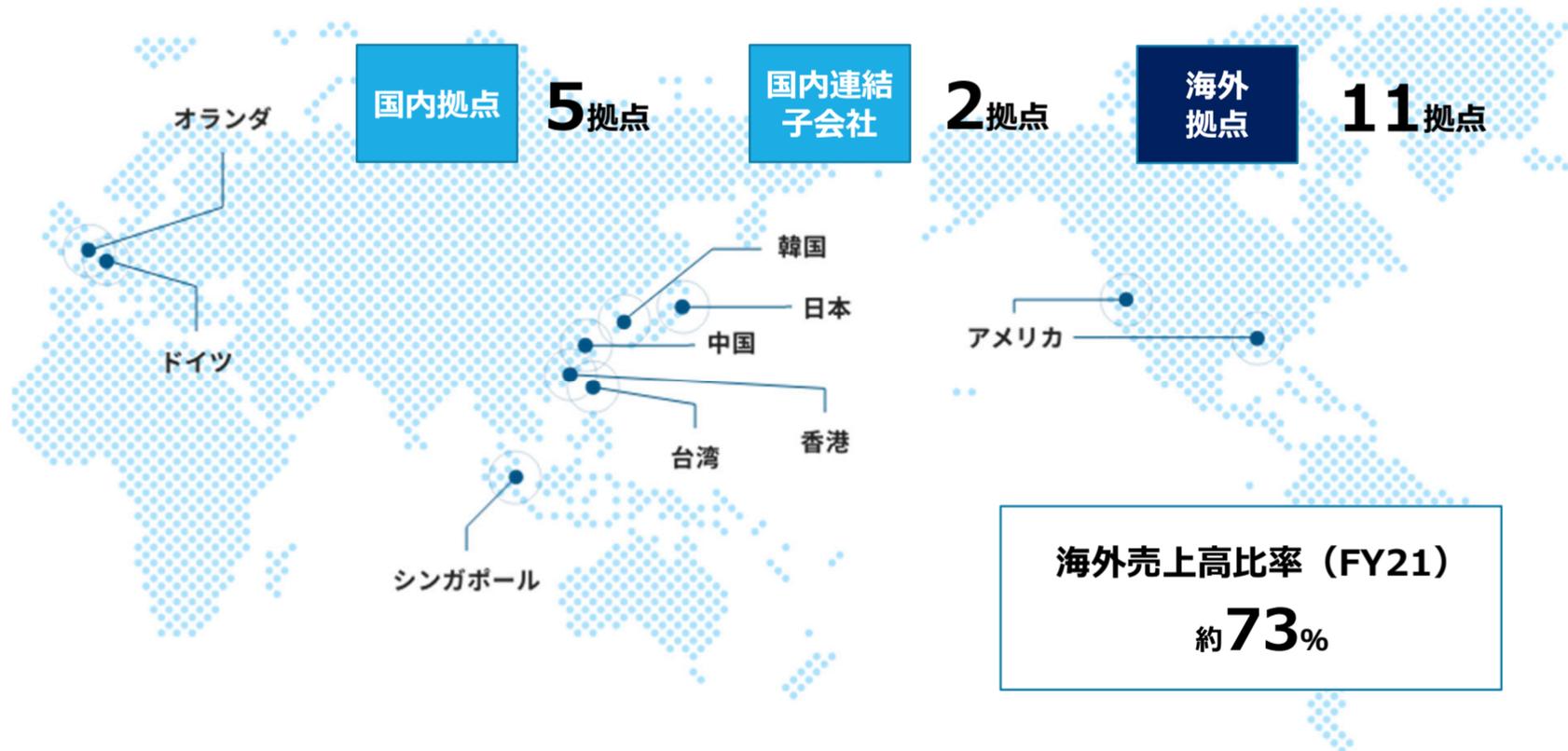
沿革

ソニーケミカルを前身として60年以上にわたり、 世界に新たな価値を提供

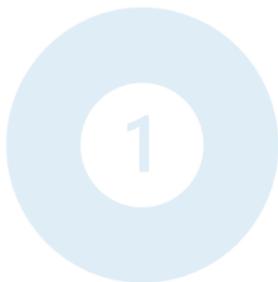


※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2021年の金額シェア。
※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2021年の金額シェア。
※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2021年の金額シェア。
光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

グローバルに事業を展開



本日の内容



デクセリアルズとは



当社の強み



目指す姿

主力製品はニッチな市場で世界No.1

世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜
(ACF)

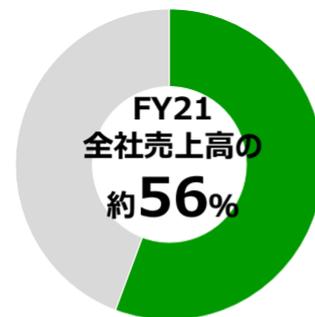


反射防止フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)

主力3製品の売上高



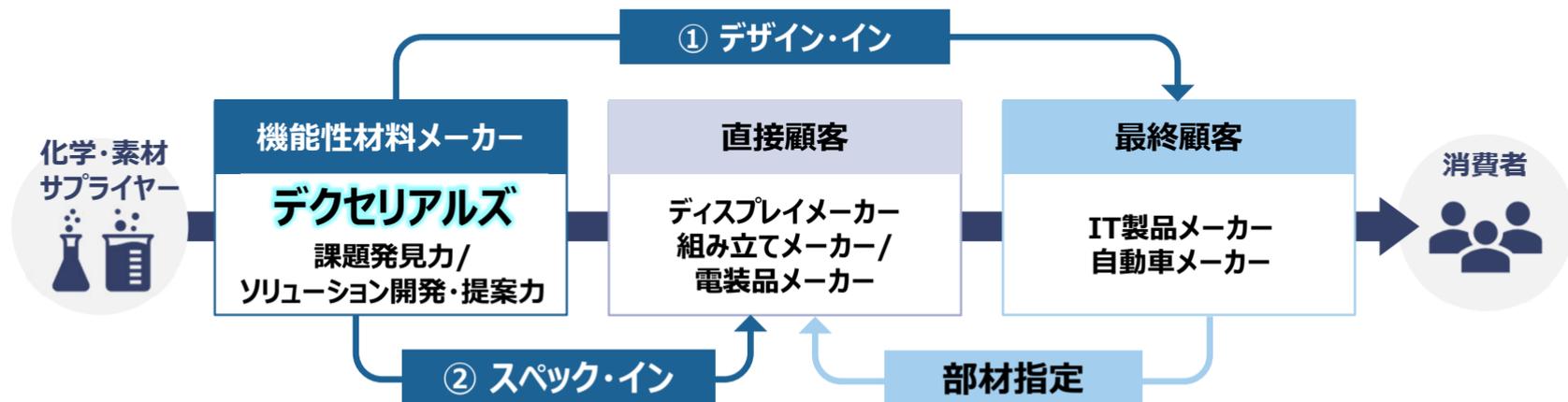
※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2021年の金額シェア。

※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2021年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2021年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

ビジネスモデル

お客さまの気づいていない技術的課題を発見し
ソリューションを開発・提案



① デザイン・イン (最適なソリューションの提案)

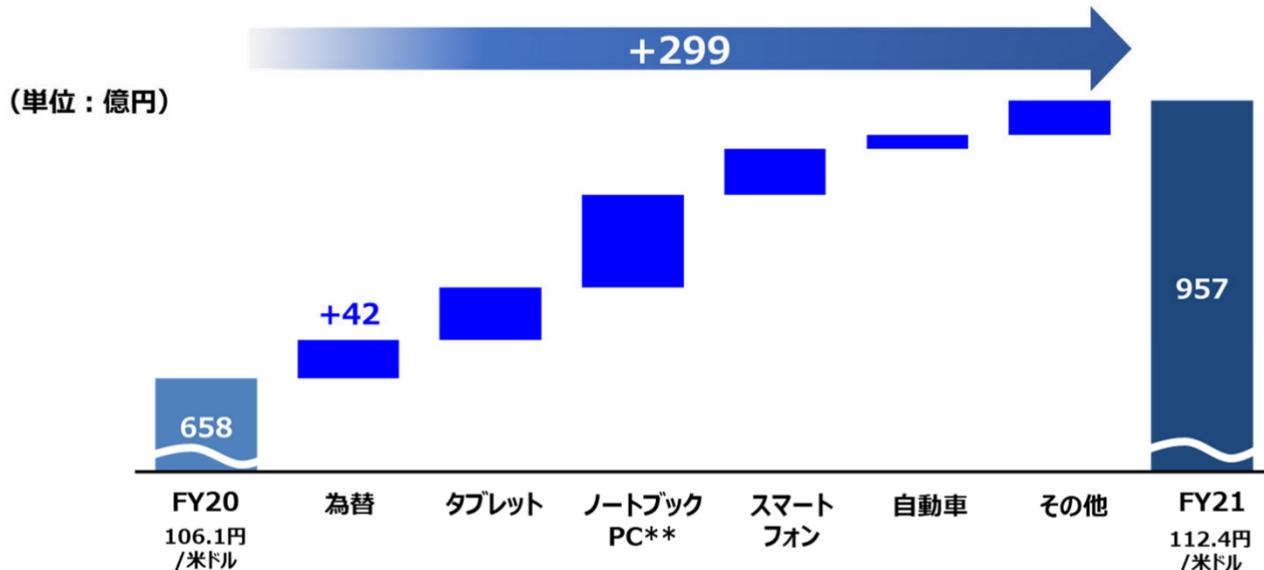
- お客さまが気づいていない技術的課題を発見し解決
- 最終製品の量産時に、当社製品を部材指定

② スペック・イン (量産化支援・製品カスタマイズ・改良)

- 自社製品をカスタマイズすることに加え、
工程改善まで支援することで、お客さまの理想のモノづくりを実現

ビジネスモデルの進化 市場動向に左右されにくい体質へ

技術革新のトレンドを先回りして開発した製品が
新部位・新たな顧客・新アプリケーションで採用

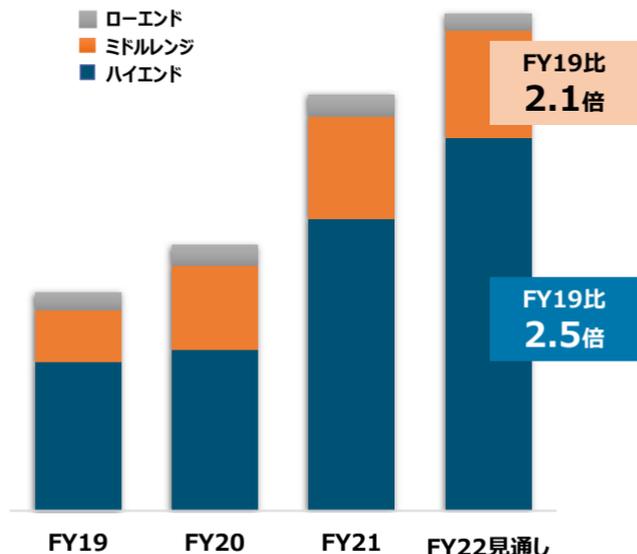


* 一部推定を含みます **デスクトップモニターを含む

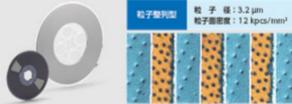
差異化技術製品の裾野の広がり

ハイエンド向け技術がミドルレンジにも浸透し、稼ぐ力がさらに向上

● スマートフォンおよびノートブックPC向け売上高*



* 当社定義による

用途	最終製品	
ノートPC 	ハイエンド	<ul style="list-style-type: none"> 数量増とともに反射防止フィルムが増加 FY21から蛍光体フィルムの新規採用で売上成長が加速
	↓	
	ミドルレンジ	反射防止フィルム搭載モデルへの 切替進む 
スマートフォン 	ハイエンド	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイ向けACFで粒子整列型ACFがデファクト化 非ディスプレイ向けで精密接合用樹脂の新部位採用、新製品の大径粒子整列型ACF・形状加工ACFが貢献
	↓	
	ミドルレンジ	粒子整列型ACFの 採用拡大 

本日の内容



デクセリアルズとは



当社の強み



目指す姿

2019-2023年度 中期経営計画「進化への挑戦」

リソースシフトと企業体質の強化で課題克服&進化を実現

課題 モバイルIT製品市場および特定顧客依存、環境変化への対応力不足

基本方針

主要施策

① 新規領域での事業成長加速

- 自動車向けにリソースを集中投下、新規領域の成長を牽引

② 既存領域における事業の質的転換

- 差異化技術製品の拡大によるシェアアップ
- 選択と集中を継続的に実施し、効率化を徹底

③ 経営基盤の強化

- 企業体質の強化：事業のスピードアップ、選択と集中、社員の意識・行動改革
- サステナビリティへの取り組み

進化

領域ポートフォリオ転換、新規領域での社会課題解決を通じた持続的成長

中期経営計画「進化への挑戦」～3年間の総括～

① 新規領域での事業成長加速

- ▶ 自動車などの新領域拡大
- ▶ 光半導体の事業獲得



② 既存領域における事業の質的転換

- ▶ 事業ポートフォリオの見直し
- ▶ 技術トレンドを先回りした製品の開発
- ▶ 生産コスト低減と歩留改善
- ▶ 拠点の集約
- ▶ 増産投資を前倒して実行

③ 経営基盤の強化

- ▶ 経営と現場の一体的運営を目指し、栃木事業所に本社機能を集約
- ▶ 監査等委員会設置会社への移行、役員報酬の評価基準に株主総利回り（TSR）導入
- ▶ 特別早期転身支援制度/マイクロデバイスカテゴリーの強化施策
- ▶ リモートワーク下で業務効率向上と感染リスク低減を両立
- ▶ 社員への人的資本投資の強化を通じた生産性の向上

事業環境の変化に左右されない企業体質へ
中計リフレッシュ目標も **2年前倒して達成**

2019-2023年度 中期経営計画「進化への挑戦」

＜進化のプロセス＞
前倒し

2019-2023「進化への挑戦」

社会課題の解決を通じて
持続的に成長

基本方針

① 新規領域での事業成長加速

② 既存領域における事業の質的転換

③ 経営基盤の強化

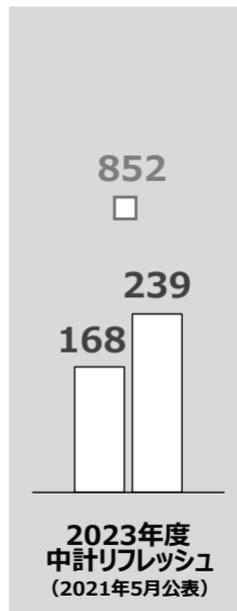
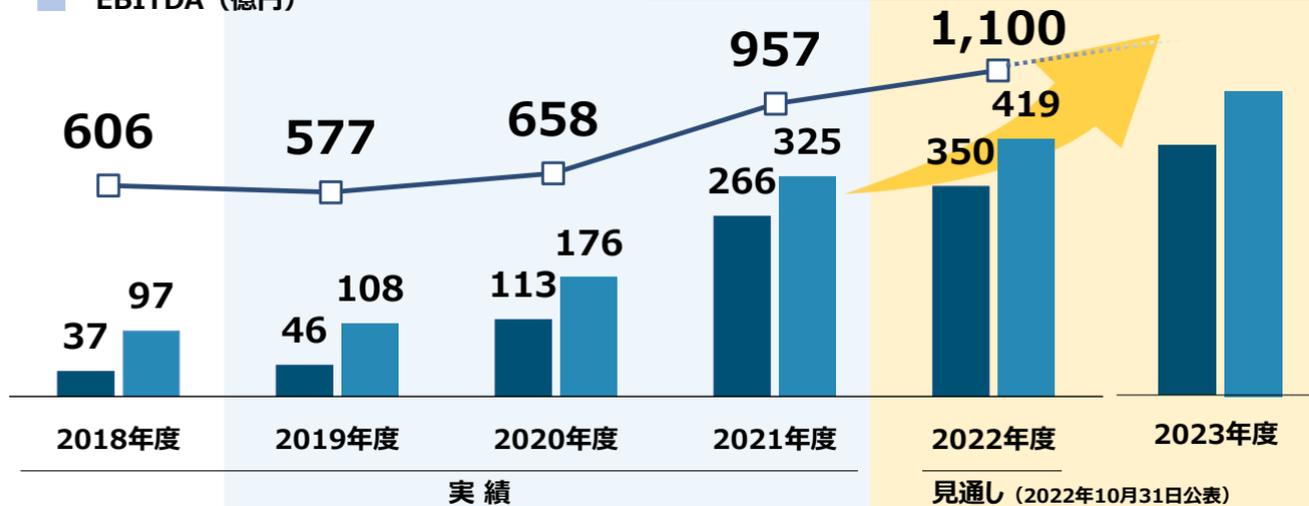
□ 売上高 (億円)
■ 営業利益 (億円)
■ EBITDA (億円)

位置づけ

成長戦略と企業変革の実現で
持続的成長と企業価値向上の礎を築く

本中計での成長実現

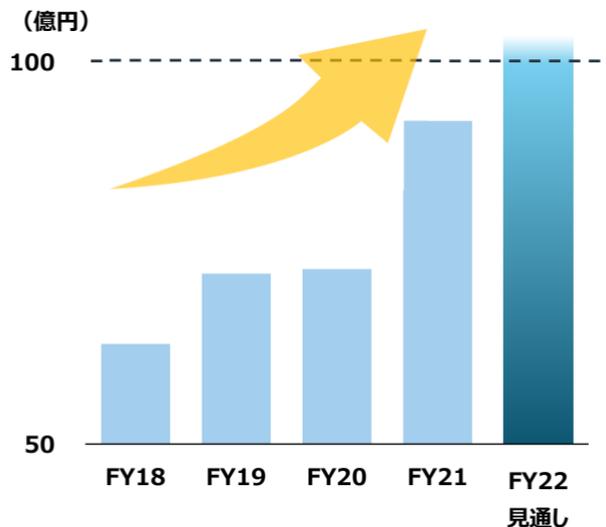
次の成長に向けた準備



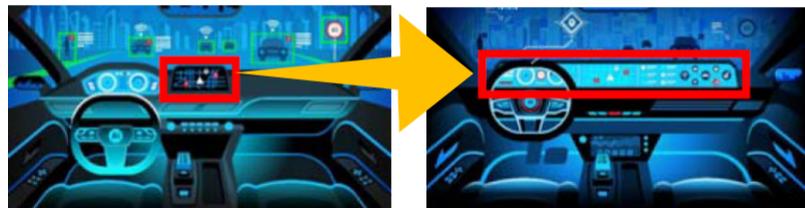
次の成長に向けた準備 ①自動車領域

反射防止フィルムの増産投資を前倒しで決定
需要が拡大する車載ディスプレイ向けで着実に成長

■ 自動車領域 年間売上高推移



台当たりディスプレイ搭載数増加
車載ディスプレイの大画面化が追い風



次の成長に向けた準備 ②光半導体

自動車の次の成長領域として光半導体を特定 京都セミコンダクターを22年3月に子会社化

■ 京都セミコンダクター



事業内容：光半導体デバイス事業

5G, Beyond 5Gの通信インフラおよびIoT機器に
欠かせないデバイスの開発・製造・販売

光センシング用デバイス

《用途》

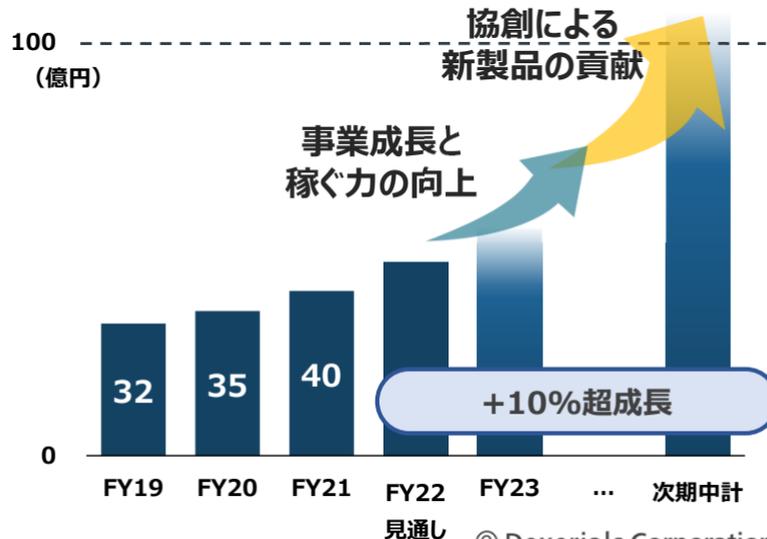
FA、金銭機器、医療機器・
ヘルスケア、分析・計測機器、
IoT など

光通信用デバイス

《用途》

光通信、モバイル通信
ネットワーク基地局向け、
データセンター向け など

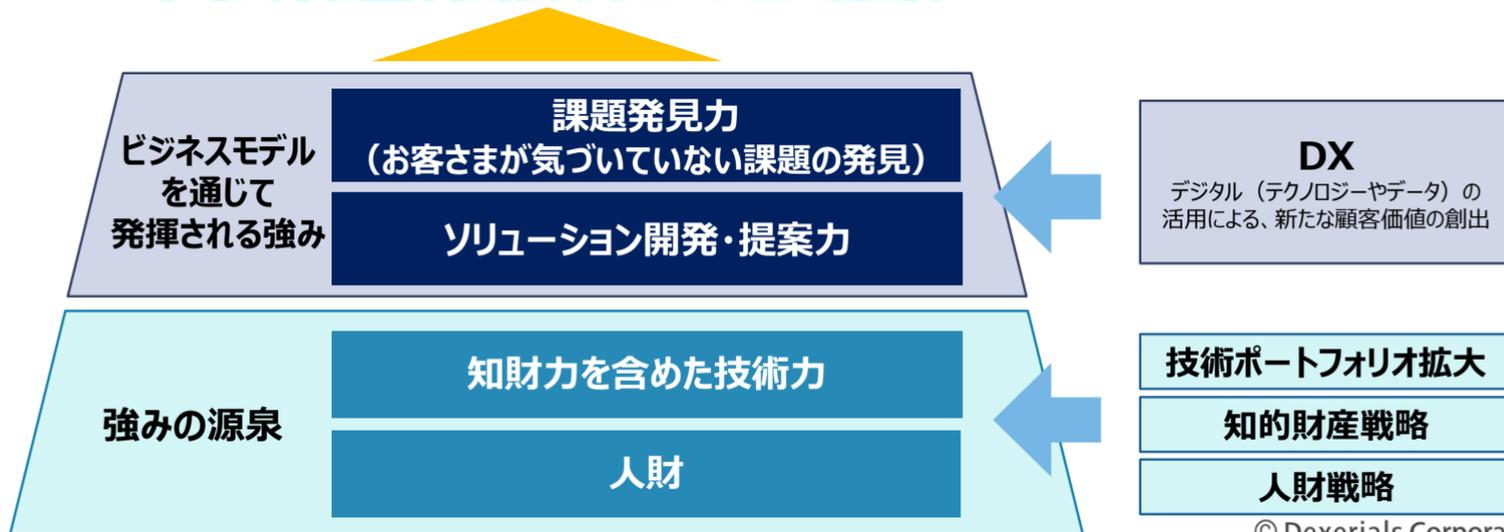
■ 成長イメージ



持続的な成長の実現に向けて

ビジネスモデルの根幹をなす「技術」と「人財」の強化により
ビジネスモデルを進化させ、持続的成長力を高める

デジタルテクノロジーの進化に
不可欠な製品や技術、ソリューションを提供



持続的な成長の実現に向けて



**社会課題解決のためのデジタルテクノロジーの進化に
不可欠な製品や技術、ソリューションを通して社会に貢献
持続的に成長する企業を目指す**

もっとよく知る デクセリアルズ

トップ
ページ



投資家
情報

「個人投資家のみなさまへ」
随時更新中

CSR | 投資家情報 | 採用情報 | 研究開発 | ニュースリリース | お問い合わせ

投資家情報

デクセリアルズ ウェブサイト

<https://www.dexerials.jp/>

製品紹介やサステナビリティの取り組みなど
当社ウェブサイトでご紹介しております



注意事項

本資料に言及されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

また、本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものでもありません。



Value Matters

今までなかったものを。世界の価値になるものを。